

## 雑誌寄稿

### [ 1 ] 一般誌関係

1. 「地域農産物を生かした学校給食を」地上、35-1、93～95 頁、家の光協会、1981(昭和 56 年). 1
2. 「今こそ出番 生改普及員」技術と普及、19-2( 227 ) 31 頁、(社)全国農業改良普及協会、1982(昭和 57 年). 2
3. 「学校給食の食生活と農漁業への影響と対策」協同組合経営研究月報、343、34～46 頁、(財)協同組合経営研究所、1982(昭和 57 年). 4
4. 「新しい農村生活の実現」果実日本、38-1、62～63 頁、日本園芸農業協同組合連合会、1983(昭和 58 年). 1
5. 「農家の食生活と地域内自給」果実日本、38-10、86～87 頁、日本園芸農業協同組合連合会、1983(昭和 58 年). 10
6. 「農村婦人の役割を見直す - 個性的な農家生活全体の中心 - 」機械化農業、2790 号、45～46 頁、新農林社、1983(昭和 58 年). 11
7. 「期待される農村高齢者の役割開発 - なぜ、いま老人を問題にするのか - 」(担い手の高齢化と能力開発 ・加藤克明と共著) 農林統計調査、34-11、8～12 頁、農林統計協会、1984(昭和 59 年). 11
8. 「農村高齢者問題の新局面」公庫月報、32-11、10～16 頁、農林漁業金融公庫、1984(昭和 59 年). 11  
(転載)桜ヶ丘(農業者大学校友の会誌) 第 12 号、3～10 頁、1985(昭和 60 年). 3
9. 「生活諸局面における加齢による対応の変化(担い手の高齢化と能力開発)」農林統計調査、35-8、33～38 頁、農林統計協会、1985(昭和 60 年). 8
10. 「農家生活時間の見直し」技術と普及、23-11( 284 ) 85～87 頁、全国農業改良普及協会、198(昭和 61 年). 11
11. 「農村における高齢者の役割と生き方を考える」五城農友、447、24～25 頁、宮城県農業普及会、1986(昭和 61 年). 12
12. 「普及課題整理の一助に - 『生活研究文献課題』刊行される - 」技術と普及、24-6( 291 ) 88～89 頁、全国農業改良普及協会、1987(昭和 62 年). 6
13. 「ここが魅力! 農家の暮らし」農業千葉、42-6( 481 ) 60～61 頁、千葉県農業改良普及協会、1988(昭和 63 年). 6
14. 「果樹専門誌の役割と使命 - 創刊 500 号に寄せて - 」果実日本、43-7( 500 ) 59 頁、日本園芸農業協同組合連合会、1988(昭和 63 年). 7
15. 「シルバーパワーをもっと生かそう(特集 農村社会と高齢化)」デイリーマン、39-2、30～31 頁、デイリーマン社、1989(平成元年). 2
16. 「農村地域における互助活動」技術と普及、26-6( 315 ) 94～95 頁、全国農業改良普及協会、1989(平成元年). 6
17. 「Roles Expected of Farm Women」Farming Japan、23-3、14～21 頁、ファーマング・ジャパン社、1989(平成元年). 6

18. 「果樹産地をつつむ農村社会(特集 魅力ある農村社会を構築する)」、果実日本、45-8( 525 )  
18~21 頁、日本園芸農業協同組合連合会、1990 (平成 2 年). 8
19. 「誇り高き高齢者に活躍の場を(時評)」、デイリーマン、40-12、15 頁、デイリーマン社、1990  
(平成 2 年). 12
20. 「東北農試における農村計画研究の諸課題」、農業技術、46-5、5~10 頁、農業技術協会、1991  
(平成 3 年). 5
21. 「食生活と地域農業」、農林水産技術研究ジャーナル、14-6、15~19 頁、農林水産技術情報協  
会、1991 (平成 3 年). 6
22. 「農村社会の明るい将来について」、共済いわて、149、8~13 頁、岩手県農業共済組合連  
合会、1991 (平成 3 年). 6
23. 「地域農業振興のカギ握る女性と高齢者の存在」、デイリーマン、41-9、94~95 頁、デイリー  
マン社、1991 (平成 3 年). 9
24. 「高齢化社会における労力活用上の問題(佐藤百合香と共著)」、農林統計調査、41-12( 489 )  
32~36 頁、農林統計協会、1991 (平成 3 年). 12
25. 「農村を支える女性・高齢者の役割(佐藤百合香と共著)」、公庫月報、40-4、16~20 頁、農  
林漁業金融公庫、1992 (平成 4 年). 7
26. 「女性・高齢者の立場と担い手問題」、調査と情報、第 74 号、3~4 頁、農林中金総合研究所  
基礎研究部、1992 (平成 4 年). 7
27. 「女性への期待を『労力』から『知恵』へ転換 - 「農山漁村の女性に関する中長期ビジョン懇  
談会報告」をめぐって - 」、農林統計調査、42-10、4~9 頁、農林統計協会、1992 (平成 4  
年). 10
28. 「二一世紀女性ビジョン前進のために」、月刊 J A、39-8、33~37 頁、全国農業協同組合中央  
会、1993 (平成 5 年). 8
29. 「わたしの新刊書・生活者の創る農とくらし」、酪農事情、vol.53、64 頁、酪農事情社、1993  
(平成 5 年). 8 .
30. 「農山漁村における女性への期待」、生活研究、74 (vol.125・ 2) 19~26 頁、農山漁村生  
活改善研究会、1994 (平成 6 年). 3
31. 「農村女性への応援歌 - 普及活動という局面を通じて - (特集・農村女性・その現実とこれか  
ら)」、技術と普及、第 31 巻第 1 号( 376 ) 28~32 頁、全国農業改良普及協会、1994 (平  
成 6 年). 6
32. 「農山漁村女性の自立を阻むもの」、農業改良、第 46 巻第 8 号( 544 ) 18~21 頁、岩手県  
農業改良普及会、1994 (平成 6 年). 8
33. 「いわてのひとに」、J A いわて、479 号、32~33 頁、岩手県農協中央会、1994 (平成 6 年).  
9
34. 「取り組み事例にみる新しい農村婦人像」、果実日本、49-11 号、56~57 頁、日本園芸農業協  
同組合連合会、1994 (平成 6 年). 11
35. 「集落再編整備をめぐる諸課題(特集・中山間地域農業の問題点を探る)」、農業および園芸、  
70-1、87~90 頁、養賢堂、1995 (平成 7 年). 1
36. 「社会指標の順位を考える(時のことば)」、月刊れぢおん青森、vol.18-6( 211 ) 2~3 頁、

青森地域社会研究所、1996（平成8年）. 6

37. 「女性農業者の課題、そして『参画法』へ」(特集・男の眼&女の眼：男女共同参画社会)」、月刊れちおん青森、vol.21-1（242）32～35頁、青森県地域社会研究所、1999（平成11年）. 1

[ 2 ] 「農 - 英知と進歩（現地農業情報）」・農政調査委員会発行

1. 「婦人の連帯でつくり上げた共同味噌加工場 - 山口県「小野田市農産加工研修所」建設にみる“味噌づくり・仲間づくり”運動 - 」、農、61、2～28頁、農政調査委員会、1978（昭和53年）. 4  
（私のコメント・小山智士「陸（農協婦人部）海（漁協婦人部）空（消費者）3軍合同作戦で生まれた味噌共同加工場」、28～32頁）
2. 「『梅郷立村』を目指す紀州・南部川村 - 日本一の梅産地・紀中“南部郷” - （\*北川勝一と共著）」、農、69、2～25頁、農政調査委員会、1978（昭和53年）. 12  
（私のコメント・川井彦二、26～32頁）
3. 「農村地域社会の新しい核『生活施設』 - 宮崎県大崎平野に根付く4つの施設 - 」、農、90、3～44頁、農政調査委員会、1980（昭和55年）. 9  
（私のコメント・吉田喜一郎「『生活センター』でムラおこし」、45～48頁）
4. 「福沢諭吉と常民（\*小山智士と共著）」、農、100、4～71頁、農政調査委員会、1981（昭和56年）. 8
5. 「地域振興と農業者学習運動」、農、123、2～42頁、農政調査委員会、1983（昭和58年）. 6  
（私のコメント・小山智士、43～45頁）
6. 「新農構仕上げてうれしい“夢の里” - 愛知県知多郡阿久比町板山のむらづくり（谷川旭と共著）」、農、139、2～28頁、農政調査委員会、1984（昭和59年）. 10  
（私のコメント・松浦龍雄、29～31頁）
7. 「農業で活路を開く“島おこし” - 東京都八丈島にみる産業振興の姿 - （横沢三夫・村野圭市と共著）」、農、160、2～35頁、農政調査委員会、1986（昭和61年）. 7  
（私のコメント・菊地まり「『サバイバル・モデル』の島をめざして」、25～39頁）
8. 「高齢者のための稲作組合 - 女性オペ集団の消息と高齢者稲作組合の活躍 - 」、農、173、2～24頁、農政調査委員会、1987（昭和62年）. 8
9. 「私のコメント・青年のやる気“里芋のような”村を貫く」（徳野貞雄「甦る秘郷・仙人の里 - 福岡県矢部村の挑戦 - 」）」、農、182、46～47頁、農政調査委員会、1998（昭和63年）. 7
10. 「まちづくり博物館『富良野』」、農、189、3～33頁、農政調査委員会、1989（平成元年）. 9  
（私のコメント・小山智士「博遊館をめざす“ふらの”」、35～37頁）
11. 「私のコメント・新しい農村地域社会を創る」（池本良教「門出集落の『門出』 - 新潟県高柳町門出地区における集落自治活動の展開 - 」）」、農、195、43～46頁、農政調査委員会、1990（平成2年）. 9
12. 「台風禍のリンゴ村は、今 - 津軽・相馬村のむらづくりパワーに期待する - 」、農、205、2

～39 頁、農政調査委員会、1992（平成4年）. 5

（私のコメント・菊元富雄、40～43 頁）

13. 「私のコメント・あらためて学ぶ、下郷の実践」（和田清孝「女性オペレーターグループは現在 - 山口県熊毛町下郷農業構造改善組合のその後 - 」）、農、211、28～31 頁、農政調査委員会、1993（平成5年）. 5

### [ 3 ] 「果実日本」誌連載

連載シリーズ・21 世紀型の農村生活像

「果実日本」誌 第 40 巻第 1 号～第 41 巻第 12 号連載

（昭和 60 年 1 月～61 年 12 月）

- (1) 女の時代と生活創造 \* 21 世紀は女の時代、\* 嫁不足の現実から出発して、\* 「生活創造」のチャンス到来
- (2) 多彩な風土と農村生活 \* 「日本は狭い」か、\* 多様な日本人のルーツ、\* 画一性からの解放を
- (3) 農業こそ未来産業、科学万博に思う \* 科学博が筑波で 3 月 17 日オープン、\* 展示の主役となるべき農林水産技術、\* 「生きた」農業博物館を作ろう、\* 21 世紀の手がかりとして
- (4) 人間の仕事としての農作業 \* 嫁不足の原因は重労働か、\* 農業という仕事の本質、\* 農作業の未来
- (5) 「四全総の 21 世紀展望」と 21 世紀人 \* 21 世紀の担い手たちへ贈物、\* 読んでおもしろい「日本 21 世紀への展望」、\* 産業・経済をリードする文化・生活
- (6) 農家らしい暮らし方の特徴 \* 農家にふさわしい生活様式を、\* 農村生活の四つの特徴、\* 生活リズムに満ちた農家の暮らし、\* 暮らしの多様性とそのまとめり
- (7) 期待される農家主婦の役割 \* 嫌われる農家主婦の座、\* 農家主婦の類型化をすると、\* 農家主婦の期待される役割
- (8) 「食」は農と生活の基本 \* 飽食時代に未来食を考える、\* 多彩な縄文人の食物、\* さて、これからの食事は
- (9) 「活老」への道、どう拓くか \* 敬老から活老へ、\* 農業生産での役割、\* 農村社会での役割
- (10) 新しい「農家憲章」を望む \* 家族のゆくえ、\* 農業の基礎は家族経営、\* 新「農家家族憲章」の制定
- (11) 生活見直しを進める集団活動 \* アメリカの「新田園主義」、\* 衣食住から医・職・充へ、\* 暮らしを作るための連帯のあり方
- (12) 「地域社会農業」を作る \* 21 世紀への模索始まる、\* ひとつの提言、「地域社会農業」、\* その見本は、「地域個性的な内部循環構造」の理解
- (13) 農業の担い手はどうなる \* 遠藤専務の警告、\* あえて、構造問題を考える、\* 専業を孤立させないこと、\* 地域の核としての専業農家
- (14) 権利としての営農と農村生活権 \* 農業と「生存権」という人権、\* 共通の権利としての生活権、\* 営農権の確立へ
- (15) 協同の原点は近隣生活に \* 農協の危機といわれるが、\* 協同活動の再生へ、\* 進む近隣

## の見直し

- (16) 21 世紀を生きる子供の食生活 \* 焦点は栄養素から「食生活」へ、\* どういう食事にするか、\* なぜ、母親はまともでないか
- (17) 嫁と姑の未来学 \* 正面から考えよう、嫁と姑、\* 吉沢勲氏の「嫁姑合戦陣訓」、\* 嫁問題から姑問題へ
- (18) 暮らしの中の「加工」 \* 「付加価値」ばやりはけっこうだが、\* 「自給」の確立が基本、\* 「加工」の展開について、\* 「加工」の範囲をもっと広く
- (19) 安全は暮らしの基本 \* 近代技術と安全性、\* 農作業事故の根絶を、\* 恐ろしい農薬中毒、\* いのちあつての物種
- (20) 生活律としての冠婚葬祭 \* 派手になった冠婚葬祭、\* 冠婚葬祭はひとつの文化、\* 日本人の生活律、ハレとケ、\* 生活リズムの再編強化
- (21) 明日はわが身、今日の高齢者問題 \* 「孤独」がもっとも深刻、\* 高齢者エネルギーの活用、\* 難しい年のとり方
- (22) 未来型食品、果実 \* 果実は過剰生産？、\* 日本人と果樹、\* 果物は情報型食品
- (23) 生活文化を作る \* 文化水準は低かったか、\* 生活の中の文化、\* 文化を作り出す
- (24) 自ら開く生活の展望 \* ますます難しい将来展望、\* 今日的生活を支配するもの、\* 展望を開く生活着としての自立

## 解題・解説・目録作成

1. 解説・「藤原善一著『ムラの移り変わり』、日本経済評論社刊」、1～15 頁、1981(昭和 56 年).  
2
2. 解説・「播磨弘宣著『むらの歳時記』、日本経済評論社刊」、1～10 頁、1982(昭和 57 年). 4
3. 農村高齢者関係文献目録 図書・資料(村野圭市と共同) 農作業研究第 52 号(通巻第 52 号)、79～82 頁、1984(昭和 59 年). 12
4. 解題・「むらの地域性 - 3. 北海道のむら」(『むらとむら問題 - 農林水産文献解題 24』)、62～64 頁、農林統計協会、1985(昭和 60 年). 6
5. 解題・「食生活」・「住生活」・「農家高齢者問題」(農林水産技術会議事務局編『農林水産研究文献解題 13 農家・農村生活編』)、25～28、34～35、100～103 頁、農林統計協会、1987(昭和 62 年). 3
6. 目録作成・「小山智士『私の仕事の履歴書 - これだけ仕事をしました』、73 頁、1992(平成 4 年). 3
7. 目録作成・「菱沼達也 主要著作目録、附・解題に代えて」(『研究も改善も農民とともに～故菱沼達也先生追悼集～』、288 頁) 231～252 頁、1996(平成 8 年). 11

## 書評・図書紹介

1. 書評・「梶川静一著『人間優先の協業経営』(家の光協会刊)、農村生活研究、23 巻 2 号、46～47 頁、1979(昭和 54 年). 10

2. 和書案内・「鈴木利徳著『地域社会づくりと生活活動』(日本経済評論社刊)」、農林統計調査、32巻5号(374)、58~59頁、1982(昭和57年). 5
3. 和書案内・「荷見武敬著『協同組合地域社会への道』(家の光協会刊)」、農林統計調査、34巻9号(402)、54~55頁、1984(昭和59年). 9
4. 書評・「来米速水他編『現代の農業・食料問題』(弥生書林刊)」、食品経済研究、第14号、121~122頁、日本大学農獣医学部食品経済学科、1986(昭和61年). 3
5. 和書案内・「井上和衛編著『農業労働科学入門』(筑波書房刊)」、農林水産図書資料月報、37巻5号(430)、6~7頁、1986(昭和61年). 5
6. 読書コーナー・「アグリ・リサーチ 二世紀を創る農業・農村」、果実日本、42巻5号、100~101頁、1987(昭和62年). 5
7. 書評・「農業関係者の不勉強をしかる - 松坂正次郎著『農政の視点PART』 - 」、耕(山崎農業研究所 所報)、50、18、1987(昭和62年). 10
8. 書評・「田畑保著『北海道の農村社会』(日本経済評論社刊)」、農業経営研究、第25巻第2号(通巻56号)、61~63頁、1987(昭和62年). 10
9. 論評・「波多野忠雄編著『高齢社会と地域農業』(農林統計協会刊)」、農林水産図書資料月報、40巻8号(469)、2~3頁、1989(平成元年). 8
10. 和書案内・「荷見武敬著『協同組合への恋心 - 基本的価値 Basic Values の探究 - 』(日本経済評論社刊)」、農林水産図書資料月報、41巻6号(479号)、7~8頁、1990(平成2年). 6
11. 書評・「陣内義人著『人間と自然の生産力』(農山漁村文化協会刊)」、農村生活研究、34巻3号、50~51頁、1990(平成2年). 10
12. 読書コーナー・「荷見武敬著『協同組合学ノート』(家の光協会刊)」、果実日本、47巻9号、102~103頁、1992(平成4年). 9
13. 書評・「中島明勲・星永俊編著『21世紀への社会教育 - 生涯学習の理論と実践』(ミネルヴァ書房刊)」、農村生活研究、37巻3号、51頁、1993(平成5年). 10
14. 書評・「田畑保・村松功巳・両角和夫編『明日の農業をになうのは誰か - 日本農業の担い手問題と担い手対策 - 』(日本経済評論社刊)」、技術と普及、34-1(407)、84頁、1997(平成9年). 1
15. 書評・「熊谷苑子著『現代日本農村家族の生活時間』(学文社刊)」、村落社会研究、1(第6巻第1号)、47~48頁、1999(平成11年). 9
16. 和書案内・「小室重雄・深山一弥編著『中山間資源活用の諸側面 - 美しく活力あふれる中山間地域の創造に向けて - 』(養賢堂刊)」、農村水産図書資料月報、第51巻第10号(通巻603号)、8-296~9-297頁、2000(平成12年). 10